

里海通信

能登町立小木小学校

令和5年3月10日

校内里海学習発表会

3年生

3年生は、「川」について発表しました。初めて経験するスライド作りや発表原稿づくりに子ども達は難しさを感じていました。しかし、完成したスライドを見て、達成感を感じている様子でした。

1年間の「川」の学習を通して、川の生き物を守りたい、そのために川をきれいに保ちたいという気持ちが芽生えました。そこで、ポスター作りに取り組むことになりました。ポスターが出来たら、校内に貼る予定です。ぜひ見てください！



4年生

～～ついに完成!! ホームページ～～ 春から少しずつ、調べた事・考えた事を、ホームページにまとめた4年生。いよいよ、完成しました! そんなホームページを初・お披露目しながら、1年間の学びを発表しました。主に、イカの体について、小木の家庭で作られるイカの料理についてです。台本も、発表スライドも、全て自分達で考え、作りました。堂々と発表できました。

残念ながらホームページはセキュリティの関係上、閲覧は校内の端末からのみですが、ぜひ、全校のみなさん、見て楽しんでくださいね。



5年生

5年生は2学期から海洋ごみの学習をしてきたことを大きな声で発表しました。赤崎海岸にゴミ拾いに行ったり、海洋ごみを減らすために様々な企業がどのような取り組みをしているか調べたりしました。マイクロプラスチックについても調べ、海の環境に大きな影響を与えていることなどが分かりました。5年生は、この学習を通して、普段の生活でごみを減らすことが大切だと気づきました。



質問や感想も色々と出ました。



6年生

こんな献立いかがですか?～職場体験をそえて～

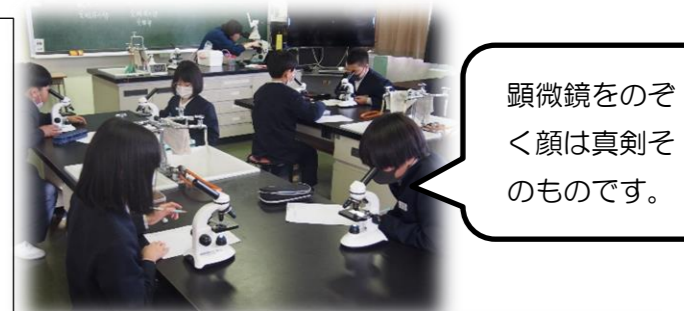
里海科と総合で学習してきた、「里海給食」「海に関わる仕事について」「防災学習」の3つのことについて発表しました。それぞれの学習で作成したスライドなどを、里海ホームページにまとめました。下級生には防災O×クイズにもチャレンジしてもらい、楽しい発表になりました。

後日、完成したホームページを公開します。ホームページの感想を答えるアンケートもあるので、1～5年生のみなさんは協力してください!

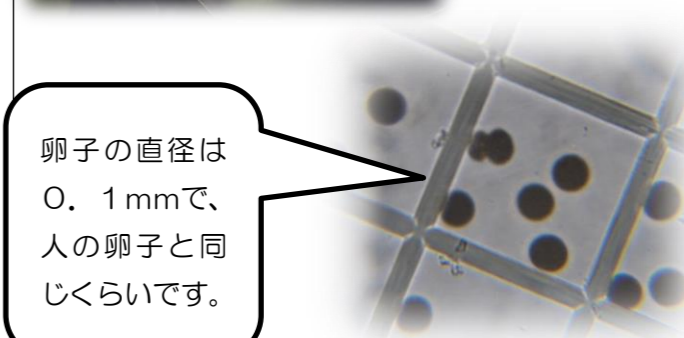


ウニの授精 (5年)

理科や里海科で学習した「魚のたんじょう」や「人のたんじょう」。共通していることは「卵子と精子が結びついて新しい生命(メダカや赤ちゃん)が生まれる。」ということでした。では、他の生物ではどうなのか?今回はウニの受精を、本物のウニの卵子とウニの精子を使って観察しました。受精卵がどのように変化していくかがよく分かりました。本物の受精の瞬間を見て、その不思議さに感動した5年生でした。能登里海教育研究所の能丸先生が教えてくださいました。



顕微鏡をのぞく顔は真剣そのものです。



卵子の直径は0.1mmで、人の卵子と同じくらいです。

里海給食の献立を考えました(6年)

6年生の里海科の学習では、2学期末から「里海給食」の学習を進めています。家庭科の学習を基礎におき、栄養バランスや食の旬、いろどりなどに気をつけて1食分の献立を考えました。

その中でも里海給食の魅力といえば、地元の食材、海の幸を使用することです。今回の調理実習では、船凍イカやタコ、アオサ、ブルーベリーなどを使いました。調理実習を行い、海の幸を味わうことができました。

また、6年生が考えた献立は実際に給食にも出され、6年生は保護者の方と「里海給食試食会」を行いました。親子で里海給食を楽しめました。

